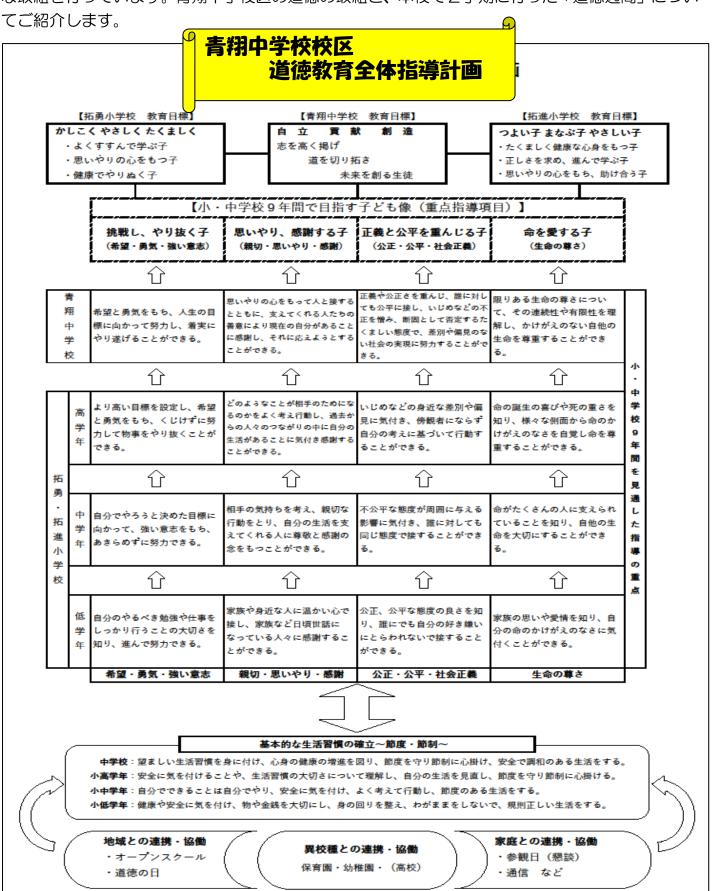
道徳教育の充実をめざして

~拓勇小学校 「特別の教科 道徳」の授業の取組~

苫小牧市立拓勇小学校 令和4年12月6日

本校では、道徳教育の要となる「特別の教科 道徳」の授業の充実をめざし、各学年・学級で様々な取組を行っています。青翔中学校区の道徳の取組と、本校で2学期に行った「道徳週間」についてご紹介します。



拓勇小・拓進小・青翔中学校の3校は、小・中の連携と系統的 な道徳教育のため、「道徳教育全体計画」を共有し、各校で道徳教 育及び道徳の授業の充実をめざしています。



令和4年度拓勇小学校では特に以下の3つを重点とし、「道徳 週間」で授業を行っています。

- 〇挑戦し、やり抜く子 → 「希望、勇気、強い意志」
- ○思いやり、感謝する子 → 「親切、思いやり、感謝」
- ○正義と公平を重んじる子 → 「公正、公平、社会正義」

道徳科では、

「道徳的諸価値について理解する」

「自己を見つめる」

「物事を多面的・多角的に考える」

「自己の生き方についての考えを深める」

の4つを具体的な目標として日々の授業に取り組んでいます。道徳週間でも、 友達と交流したり、立場を変えて心情を考えたり、道徳的諸価値について自分 のこととして考えたりすることで、**自分の考えを深め、広げ、よりよく生きるた めの基盤づくりに**つなげています。

道徳週間について

道徳週間を以下のように設定し、各学年で授業を行っています。

期日	内容項目
1学期 6月27日~ 7月8日	「希望・勇気・強い意志」
2学期 11月14日~11月25日	「公正、公平、社会正義」
3学期 2月 6日~ 2月17日	「親切、思いやり」

2学期道徳週間の授業風景

「公正、公平、社会主義」

学年	指導内容	題材名
1年	自分の好き嫌いにとらわれないで	みんないっしょ
2年	接すること。	大好きな フルーツ
		ポンチ
3年	誰に対しても分け隔てをせず,公	みさきさんのえがお
4年	正, 公平な態度で接すること	となりのせき
5年	誰に対しても差別をすることや偏	転校生がやってきた
	見をもつことなく,公正,公平な態	
6年	度で接し、正義の実現に努めること	田中正造
中学	正義と公平さを重んじ、誰に対し	
	ても公平に接し, 差別や偏見のない	
	社会の実現に努めること。	

1年生「みんな いっしょ」

ねらい:自分の好き嫌いにとらわれず、だれに対しても 公正、公平に 接しようとする心情を育てる。

≪教材について≫

外遊びをしている場面の絵。友達どうし仲良く遊んでいるが、その周りには、「入りたそうにしている子」や「自分から入れてと声をかける子」がいる。また、遊んでいる子の中には、「友達を入れることを嫌がる子」「夢中になって気付かない子」もいる。その場面の絵から考えるという授業。







≪児童の考えより≫

みんなで仲良く遊ぶためには、どのようなことが大切だと思いますか?

- 困ってそうだったら、「どうしたの?」って声を掛けるといい。
- みんなで、嫌な顔をしないで、いい顔をして入れてあげることが大切だと思う。
- 負けても怒らない。そうすると、みんな楽しく仲良く遊べると思う。

友達に仲良くしたり声をかけたりしたときのことを書きましょう。

- ・公園で、友達と小さい子と仲良く遊べました。
- 友達と仲良く遊んで、いい気持ちがしました。
- 自分から入れてって言えたし、友達を助けることもできたことがある。
- 友達が一人で遊んでいたときに、一緒に「遊ぼう。」って言ったことがある。

2年生「大すきなフルーツポンチ

ねらい:自分の好き嫌いにとらわれないで人に接し ようとする判断力を育てる。

≪教材について≫

給食当番の「ぼく」が、みんな同じくらいの量でフルーツポンチをよそい始める。しかし、仲の良いしゅんたが、並んだ時に「みんなよりも多く入れたい。」と思い、しゅんたの器にたくさんよそう。それを見たかおりが、「どうしてしゅんたさんの分だけ多いの?」と指摘するという話。







≪児童の考えより≫

どうして「ぼく」はしゅんたさんにフルーツポンチをたくさん入れたと思いますか?

そのことについてどう思いますか?

- しゅんたさんは、友達だからたくさん入れたと思う。ちょっとだから分からないと思って入れた。
- ・不公平だと思う。ずるいからダメだと思う。ダメだと思う。理由は、しゅんたさんはうれしいけど、他の友だちはずるいと思うからです。

あなたが、公平にしていることは何ですか?

- ・家族みんなにお菓子を配ることです。
- 友だちを鬼ごっこに入れてあげたこと。
- 挨拶をみんなにしていること。
- ・配りの仕事の量を同じにしていること。
- 友達に「帰ろう」と言われて、一緒に帰ってよかった。

3年生「みさきさんのえがお」

ねらい:分け隔てをせず、誰にでも公正、公平に接しようと する態度を育てる。

≪教材について≫

図書係の「ぼく」が、人気のある本の貸し出しをめぐる話。先に予約を受け付けた「みさきさん」を 優先するべきか、その後に頼まれた仲の良い「しゅんやさん」に先に貸すかで葛藤するという話。









≪児童の考えより≫

すぐに返事ができなかったのは、「ぼく」がどんなことを考えていたからですか?

- しゅんやさんは仲良しだけど悲しませたくない。
- みさきさんに嘘をつけない。どうしよう。

公正にできたことはどんなことですか?

- プリントを配るときに、みんなに同じ枚数ぐらい渡したこと。
- ・給食でごはんを同じ量入れること。

公正な態度をとるときに大切なことは何だと思いますか?

- •譲り合うこと。
- 優しさや思いやりの気持ちをもつこと。
- 人を区別しないこと。

4年生「となりのせき」

ねらい:誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態 度で接しようとする心情を育てる。

≪教材について≫

学級の席替えで、苦手だと思っていた友達と席が隣になった主人公が、相手に対して不公平な態度を取ってしまう。やがて自分の取った態度が、他の友だちからの情報や母からの投げかけた言葉によって、正しくなかったことに気付く話。



≪児童の考えより≫

お母さんが「わたし」に言った「もっとだいじなこと」とは、どんなことでしょうか?

- 相手のいいところを見付けること。
- ・苦手な人も公平に接すること。
- 相手の気持ちを考えること。
- 人のことを思いやる心。

誰にでも、同じように声をかけたり、遊んだりしたことを振りかえりましょう。

- 同じようにできたときは、遊んでいて楽しかった。(友達に) こんないいところがあったんだと 気付くことができた。
- •(公平にできて) 友達がこんなことが好きなんだと気付いて、もっと深く友達になれたと思った。

5年生「転校生がやってきた」

ねらい:誰に対しても偏見を持つことなく、公正・公平にし、 正義の実現に努めようとする態度を育てる。

≪教材について≫

転校生の勇馬が、学級で仲間外れにされている「ぼく」を支え、励ます。その勇馬の態度や言動からそれまで黙っていた人たちが、学級を良くしていくために、正義に実現に向けて動き出していくという話。









≪児童の考えより≫

勇馬は、いじめについてどんなことを考えて学級のみんなに話しかけたでしょうか。

- 今までの僕みたいに悲しい目にあってほしくない。いじめについてもっと考えてほしい。
- 助けて楽しい学級にしたい。
- みんなにこの子のいいところを見付けて、広げていきたい。

いじめをなくすために自分自身に必要なことは何ですか。

- 正しいことをしてけじめをつけること。
- 笑顔、コミュニケーションカ、責任感、勇気、決断力、強い気持ち。
- 友達をかばっても、(自分が) いじめられないとプラスに考えること。

6年生「田中 正造」

ねらい:自分の損得にとらわれることなく、誰に対しても公正、公平 な態度で、社会主義の実現に努めようとする心情を育てる。

≪教材について≫

小さい頃から、弱い者の立場に立って物事を考えることを母から教わってきた田中正造が、 様々な困難に遭いながらも、自分の生涯をかけて足尾鉱毒問題を解決するために戦い抜いた話。



≪児童の考えより≫

田中正造ってどんな人?

- 政府に向かって勇気があり、農民のために訴えてヒーローだ。
- ・自分の命を犠牲にしてまで農民を助けるなんてすごい。

自分だったら、正造と同じように主張できるか?

- 国会議員だからできる。農民のためならできる。
- ・主張したいが武力で…。

みんなが公平でないと感じるのは?

- 男女関係。
- 兄弟や姉妹関係。

今日の学習のふりかえり

- 誰かのために頑張ったり、行動したりするのは簡単そうで簡単でない。その行動が難しいなら、 少しずつ自分で取り組めることをしたい。人生をかけてまで頑張ることはできないけど、できる だけがんばりたい。
- ・私は人前で発表するすことが苦手なので、田中正造さんのようにはなれないかもしれないが、いいろいろな人のために働ける人になりたい。